

啓発用冊子の作成について

1 在宅療養啓発用冊子「我が家がいちばん」の作成

(1) 目的

昨年度実施した市民意識調査において約7割の市民の方が在宅で療養したいとの意見があったことを考慮し、市民に在宅療養の内容を分かりやすく伝えることにより、在宅療養に関する理解を深めてもらうことを目的として作成する。

(2) 実施事項

在宅療養でどのようなことを行うことができるのかについて、事例を交えて分かりやすく伝えることができる冊子を作成する。

(3) 作成部数

5,000部

(4) 冊子（案）

別冊「我が家がいちばん」

2 看取りに関する啓発用冊子の作成

(1) 目的

今後、リビング・ウイルを作成し、延命治療を望まないという方については、自宅での看取りとなることが多いものと考えられる。この場合には、本人への配慮は十分に必要であるが、それと同時に家族がそれを受け入れる精神的な準備をしておくことが不可欠であるため、看取りに関する啓発冊子を作成する。

また、医療及び介護の関係者間において、看取りに関する情報共有を図るための媒体としての活用も期待できるものと考えられる。

(2) 実施事項

自宅で死を迎えるまでの身体的な変化及びその変化を家族がどのように受け止めることが望ましいかについて分かりやすく記載した冊子を作成する。

(3) 作成部数

5,000部

(4) 冊子（案）

別冊「これからの日々」